

計機健保の平成29年度  
医療費動向がまとまりました

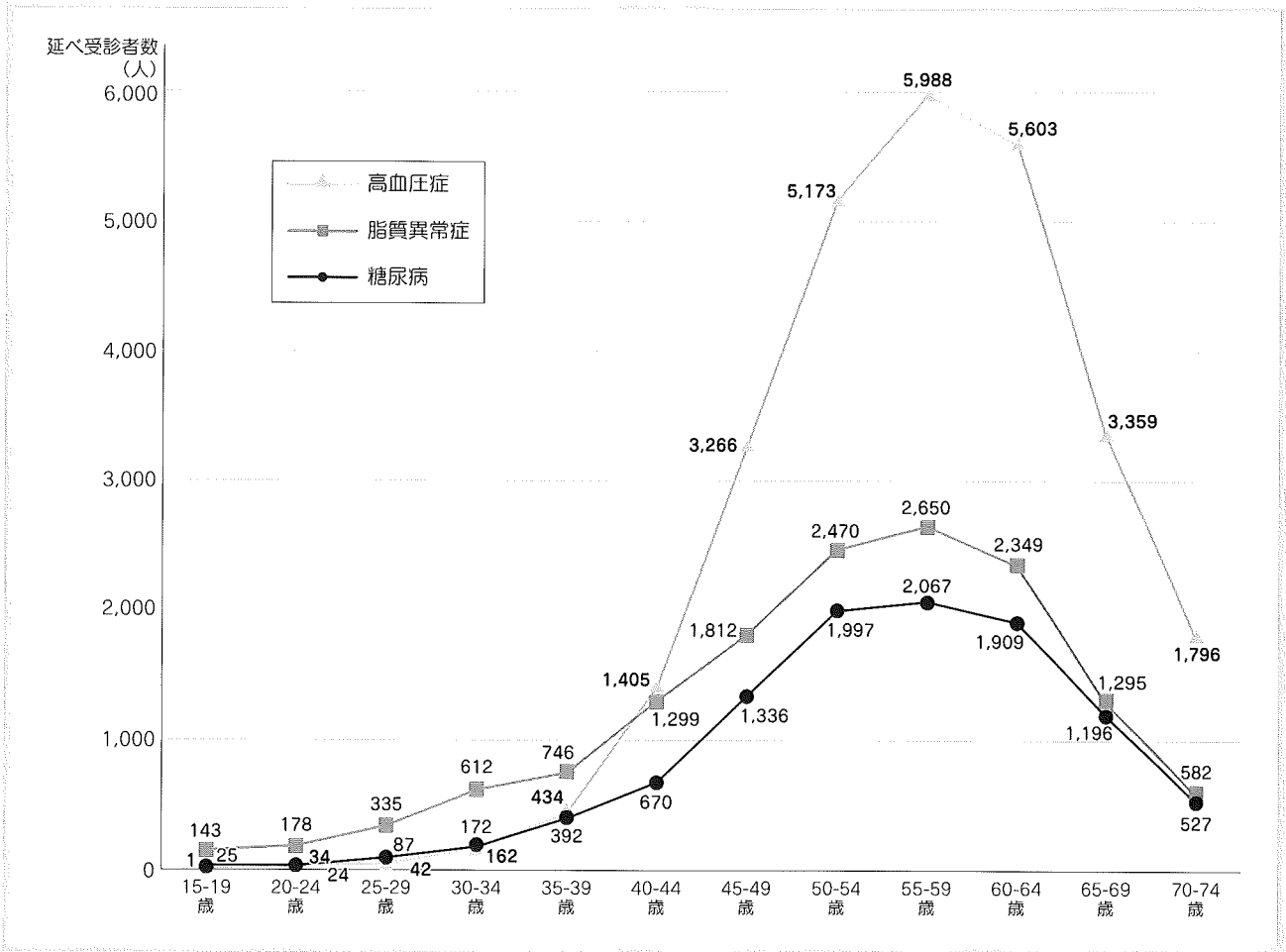


高血圧症などの  
生活習慣病関連で医療機関に  
かかった方を調べました



# 受診勧奨文を受取られた方は 速やかな受診をお願いします

生活習慣病関連疾病の年齢階層化別受診者数(15歳以上)



※脂質異常症等には、痛風等の原因となる高尿酸血症が含まれます。

例年同様、35歳以降から受診者数が急増しています。しかし、脂質異常症が平成28年度は対前年度比460名増だったのに対し平成29年度は42名増にとどまるなど、全体として増加の勢いは抑えられている傾向がみられました。

35歳以上の受診者数の経年比較(延べ受診者数・人)

	平成28年度(対前年度)	平成29年度(対前年度)
高血圧症	26,844(+289)	27,024(+180)
脂質異常症	13,161(+460)	13,203(+42)
糖尿病	10,013(+45)	10,094(+81)
計	50,018(+794)	50,321(+303)

医療費について、家族の高血圧症がやや減少していますが、その他は受診者数の増加に比例して医療費も増加しています。これらの疾患は自覚症状のないまま進行し、重症化すると心疾患(狭心症・心筋梗塞)、脳血管疾患(脳梗塞・脳出血)等の重篤な合併症を引起す危険性が高くなります。受診されている方は主治医と相談しながら、治療、経過観察を続けましょう。

当組合では、40歳以上で各種健診の結果、血圧、血中脂質、血糖の3項目において、治療が必要な方に対し受診勧奨文を送付しています。受取られた方は速やかに受診していただきますようお願いいたします。また、再検査・精密検査に該当した方も必ず受診し、必要に応じて治療を受けることと並行し、生活習慣の改善に努めましょう。